

放送番組審議会

2022年度 第1回 放送番組審議会議事録

日時

2022年7月27日（木）14:30～15:30

場所

とうしん学びの丘“エール”多目的室

放送番組審議委員出席者

一般社団法人土岐市観光協会 会長	石黒 信彦 様
多治見市役所 企画部 秘書広報課 課長	水野 琢也 様
土岐市役所 秘書広報課 課長	鈴木 伸重 様
瑞浪市役所 総務部 企画政策課 課長	加藤 昇 様
有限会社 ヤマカ斎木製陶所 社長	山内 浩子 様
学校法人廣池学園麗澤瑞浪中学・高等学校入試広報チーム 入試係長	中西 純也 様

計 6 名

事務局

代表取締役社長	福村 郁夫
常務取締役	倉地 公彦
放送部 部長	佐伯 さほり
係員	岡村 友博
係員	須原 なつみ
係員	加藤 久美

議 事

1. おりベネットワーク株式会社 代表取締役社長挨拶
2. 委嘱状伝達
3. 放送番組審議委員・事務局 自己紹介
4. 委員長・副委員長の選出
5. おりベネットワーク 会社概要
6. 放送番組審議会について
7. 自主制作番組の説明
 - 1) 放送番組基準
 - 2) 自主制作番組の説明
8. 審議事項（番組視聴）
 - 1) あなたを笑顔にしたいから～出張介護美容～ [29分30秒]
 - 2) おりベ情報局 [30分]
 - 3) 週刊おりベニュース [20分]
9. 写真撮影

審議事項（番組視聴）

1) あなたを笑顔にしたいから～出張介護美容～ [29分30秒]

<水野委員>

大変興味深く拝見いたしました。人生をワンランク上の生活にする仕事に携わろうとする井上さんにスポットがあてられていましたが、井上さんの心境が変化していく過程、つまり、華やかな美容の世界から福祉の道へ進む際の心境変化の過程がもっと描かれていると良かったと思います。

<鈴木委員>

人生100年時代におけるQOLの大切さという社会性のあるテーマが描かれていました。美容は生きる上で最優先にはなりません、散髪や着付けが仕上がる過程で利用者の表情が明るくなっていく、出かけたくなるというコメントが紹介されており、QOLの大切さが伝わりました。構成の面から言うと後半に取り上げられていた100歳100人プロジェクトに関しては間延びした感がありました。20分位の尺で良かったのでは。

<加藤委員>

出張介護美容ということで、井上さん本人のインタビューだけに終わらず、家族の絆や周りの理解協力なども必要であると感じることができました。メッセージ性の高い構成となっていた点が非常に良かったです。笑顔が内面を輝かせるというコンセプトも伝わってきました。

<山内委員>

ハンディキャップのある人をきれいにしあげるといふ姿を見て人生の最後まで尊厳を守る事の大切さを感じました。

<中西委員>

利用者の方々の表情から、この活動に共感が持てました。その上で、共感を持った人に呼びかける、協力を求める、また同じ様な活動をしている人と関連付けて地域を盛り上げていくというような展開があると良かったのではないのでしょうか。インタビューのシーンでもマスクを着けていらっしゃいますが、人によってはどうしても言葉がこもってしまうので、その際は字幕などつけてもらおうと良いと思います。

<石黒委員長>

私も皆様と同じ意見です。素晴らしい番組だと思いました。このように社会に貢献しようと頑張っている人がいるということをもっと社会にアピールしてほしいです。自分も社会福祉に関わっている人に見せたいと思っています。

2) おりべ情報局 [30分]

<水野委員>

ダブルダッチで頑張っている姿が紹介されていましたが、本人も親ごさんも大変うれしい事だと思います。励みになるしやっていて良かったと感じられるでしょう。地域の頑張っている人たちをこれからも取り上げて欲しいです。中西さんもおっしゃっていましたが、マスクをつけたままのインタビューはコロナ禍とはいえ工夫をして、一人一人の表情がもっと見られるようにすると良かったと思います。

<鈴木委員>

マイクマンに出演していた篠原さんは良いキャラクターをしてお見えて参加している様な気持ちになりました。マスク越しでのコメントは聞きづらい場面がありました。テロップがあると良かったです。土岐小学校紹介のコーナーもありましたが、子どもたちの生き生きした姿が伝わってきてリラックスして見る事が出来ました。校長先生へ児童がインタビューするシーンなども柔らかな雰囲気良かったです。こちらはテロップが効果的に使われていて見やすかったです。お店紹介は掛け合いが良く面白い内容になっていました。

<加藤委員>

コロナ禍のマスクについては賛否両論があり、いろいろな状況下ではケースバイケースで対応する必要があると思います。土岐小学校は私の母校ですので親近感を覚えました。子どもの笑った顔、明るい表情からは元気がもらえます。大人より子どものほうが前向きだなあと伝わってきました。情報局内のコーナーをひと月分まとめるなどして番組として放送するというのはどうでしょうか。

<山内委員>

自分は大縄跳びくらいしか経験がないのでビックリしました。

<中西委員>

地域性があるポップな番組ですね。子どもが映っていると元気がもらえます。1点気になったのは、児童の体操服などには名前が書いてあり画面に映ってしましますが、個人情報の観点から許可などはどうしているのでしょうか？番組全体としては見やすく共感が持てました。

【事務局】

児童の名前の件についてお答えします。取材前に学校側との打ち合わせの際に学校の考えを聞き、消して欲しいという場合はほかしを入れる、また、個別に撮影不可のお子さんがある際なども撮影しないよう配慮しています。マスクの件ですが、原則一人で映る時は外すことを基本としております。しかし、マスクを付けたり外したりするのもおかしいというご意見をいただきましたので、今後は検討していきます。

<委員長石黒様>

3) 週刊おりべニュース [20分]

<水野委員>

地方では人口減少が進んでいますが、それを食い止めるためには地域の人に地域に愛着を持ってもらう必要があります。新聞が取り上げないような出来事を広報して皆知ってもらおうと地域愛が生まれ、とても効果的だと思いますので、これからもこのような番組作りを続けて欲しいです。

<鈴木委員>

泉中学校の茶碗作りを取り上げていたので興味深く見ました。ろくろを回すシーンなど手元が取りづらく苦労されたことと思います。インタビューのシーンなどは背景に気を使ってほしい場面がありましたが、新聞と違って色々なシーンが見られるのは良いですね。地域を知るのに役立ちます。

<加藤委員>

陶育について取材していましたが、そのような言葉があるということを知りました。3市は陶器の産地ですので、小さい頃から地場産品に触れることを推奨していく活動は大変良いと感じることが出来るニュースでした。

<山内委員>

陶育を取り上げてくださりありがとうございました。子どもたちが美濃の地に生まれた誇りを持つきっかけになってほしいとの思いで活動している「美濃焼おかみ塾」の活動は、これからも動きを止めずに続けていきますので、よろしくお願いします。

<中西委員>

トピックスとしてリズムよく見やすい構成となっており、キャスターの方もニュースということで話すスピードを変えていましたね。聞きやすかったです。陶器のイベントなどの話題を見て自分も参加してみたくまりました。

<石黒委員長>

細かいところまで観察して取材していてすごいと思いました。泉中学校の茶碗作りなど、初めて見ました。聞くだけと実際画面で見るとでは説得力が大きく違います。これからも地域でまちづくりに励んでいる団体の情報をどんどん集めて放送してもらいたいです。

【事務局】

1週に8本のニュースを制作しており、週刊ニュースはそれをまとめたものです。石黒委員長がおっしゃられた様に課題は情報収集です。情報は待っているだけではだめで、もっと積極的に集める手段が必要だと考えています。コロナ禍のため、情報は減る一方なので、委員の皆様にもイベント等の情報をいただくと大変助かります。

<石黒委員長>

番組PRの観点からお聞きしますが、番組のガイド誌は加入者のみに配布されていますか？せっかくの良い番組をもっともっと見ていただけるよう考えていただきたい。

【事務局】

ガイド誌以外の告知方法としては、中日新聞の東濃版に番組表を掲載していただいております。HPやSNSなどでも発信しています。若い人に興味を持ってもらうことが今年の課題です。

弊社ではスマートフォンアプリでも、様々な情報を発信しています。著作権等の問題があるためすべての番組ではありませんが、アプリで番組が視聴できるようになっています。ライブカメラによる地域の道路・河川の映像も見る事ができます。

<石黒委員長>

アプリとは色々努力されているんですね。他の委員さんも何か意見はありますか？

<水野委員>

地域愛を育てるには地域を知らなければなりません。若い世代に訴えるこれからの取り組みが大事だと思います。テレビそのものが年配者向けのものと化していますが、紙よりは映像です。情報の提供は行政としてもしていかなければならないと改めて思いました。

<鈴木委員>

私も行政の立場から情報の伝え方に苦慮しています。いかにして見てもらえるのか。

<石黒委員長>

多治見・土岐・瑞浪市それぞれの方が参加しておられますが、将来的には東濃全体の枠組みで物事を考える事が出来る様になっていけると地域の発展につながるのではないですか。